

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
生物学 Biology		全学科	1年次 2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	安藤 稔朗	
概要				
<p>生物学への興味と関心が遠ざかった学生や、高校で生物を履修してこなかった学生も考慮に入れながら、生物学の基礎的・基本的事項について学習し、生物学的思考力を養う。</p> <p>中学校理科の「植物の生活と種類・動物の生活と種類・生物のつながり・地球と人間」で取り扱う生物分野の基礎となる理論、現象について学習する。</p>				
到達目標				
<p>(1) 中学校の生物分野において、科学的なものの見方・考え方を培うための内容について、学習指導要領と関連させて説明できる。</p> <p>(2) 中学校の生物分野で取り扱う教材の特性や着眼点などについて説明できる。</p> <p>(3) 中学校の教育現場で生物に興味や関心を持たせるような授業を工夫する。</p>				
指導内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 生物学のあゆみ 3 生命とは何か ー生命とその特徴ー 4 生命の基本単位 ー細胞ー 5 植物の構成と機能 6 植物の成長 7 環境と植物 8 動物の働き ー生理作用ー 9 動物の行動 10 生殖と発生 11 遺伝 12 生物の多様性と進化 13 生物の生活と生産 14 生物界のつりあいと自然環境保全 15 地球環境と生命 				
テキストおよび 参 考 文 献	<p>テキスト：安藤稔朗「生物学」山口短期大学 資料・プリント：その都度配布</p>			
メ ッ セ ー ジ な	<p>講義で学び取る学習から、講義を契機に自分の頭で思考する学習への転換をはかることが肝要である。</p> <p>中学校二種免許状（理科）：必修科目</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 中学校の生物分野において、科学的なものの見方、考え方を培うための内容について、学習指導要領と関連させて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、内容を説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	30%
(2) 中学校生物分野で取り扱う教材の特性や着眼点などについて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。		30%
(3) 中学校の教育現場で生物に興味や関心をもたせるような授業を工夫する。	ほぼ完璧に授業を工夫できる。	大きな間違いがなく、授業を工夫できる。	間違いはいくつかあるが、授業を工夫できる。	工夫できていない。	観察・実験 (関心・意欲・思考力・判断力・表現力)	40%